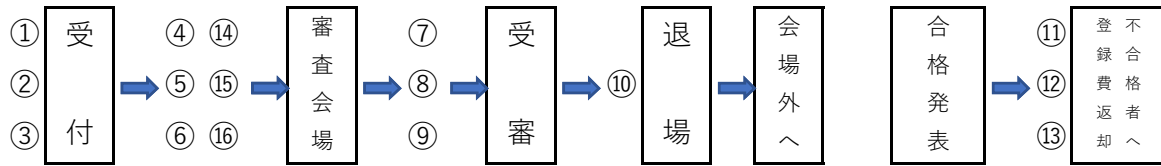


【受審会場での受付から退場までの流れ】



- ① 武道館玄関を審査会場への出入り口とします。
武道館玄関を先頭に受審者は必要な距離を保ちながら受付順を待ちます。
- ② 受審者はマスクをつけ剣道着、袴に胴・垂れを着装し、防具袋の中に面・小手を入れて竹刀をもって集合します。（防寒着を剣道着の上から着てもOKです。）
足の消毒液または除菌ティッシュなども防具袋の中に準備しておきます。
- ③ 受付場所は武道館玄関を入った武道館ホール（廊下）とします。
受付前に靴袋に靴を入れ防具袋の中に入れて係員に受審者確認票を提出し指示に従います。（受付時に体温チェック【37.4℃以下】で再確認します。）
- ④ 6級から4級の受審者は受付終了後、係員の指示で足のアルコール消毒をして審査会場指定場所に座ります。
- ⑤ 3級以上の受審者は受付終了後、審査会場入れ替え前の待機場所として武道館ホールの両端に待機します。
その待機時間を利用して足のアルコール消毒を実施します。
- ⑥ 審査会場の入れ替えは、6級～4級までは連続して実施し全員が退場後、3級受審者が入場します。
以下2級、1級の受審者も3級同様の入れ替え方式をとり、密を防ぎます。
- ⑦ 審査会場指定場所は、たて2.0m、横1.2mの中に左側に竹刀を置き、前方に面と小手を置きます。防具袋は受審者の後ろに置きそれぞれがはみ出ないようにします。
- ⑧ 左右の隣の受審者とは2.4m、前後は3.0mの距離を保ちます。
- ⑨ 各級受審者への受審要領を係員から説明します。
特に3級以上の木刀による基本技は、防具を全て着用し竹刀を右手に持ち、礼法を行い、所作は木刀の場合と同様となりますので間違えないようにして下さい。
- ⑩ 受審者は実技審査終了後、指定場所に戻り面小手をとり防具袋に入れたのち、速やかに審査会場から退場します。
- ⑪ 合格発表は集計後、適宜実施しますので引率者の方は確認し、不合格者の登録費を受付で受領して下さい。
- ⑫ 受審者名簿と合格発表用紙については、受審者用と保護者用にそれぞれ掲示します。
- ⑬ 会員手帳への連盟印（合格印）は当日はしませんが、合格者は日付けと受審会場を自分で記録しておいて下さい。
以降、受審時に押印の機会（未定）があれば押印する予定です。
- ⑭ 各団体の引率者もマスクをつけ、受付時に体温チェックと氏名の記載をお願いします。
途中で別の引率者と交代する場合も同様の措置をお願いします。
- ⑮ 引率者は受審者の着装が不十分な部分の補助と、不合格者がいた場合その登録費の返却を受付で受領して下さい。
- ⑯ 引率者の受審会場での控え場所は受審者の後方（畳上）とし係員の指示により必要な距離を保って座って下さい。（引率者も素足の場合は足の除菌をして下さい）

武道館施設での入口・出口・受付・合格発表などの配置

2 F

